

第26回 『稲刈り(もち米)・稲掛と大根・蕪を播種、園主の田の手伝い』

とき 2012年9月28日(土) 9:30 - 16:00

ところ 谷っ戸ん田、尾根畑、園主のJA田奈脇の田んぼ

天気 曇りのち晴れ 最高気温 29℃

参加者 石田、磯、霧生、久保、佐々木利江、坂本、高田裕司、高橋、松下 計9名

【午前】 9:30 集合後、本日の作業の段取りを打合せ、9:50 頃作業をスタート。

- ・ 9月15日に刈って稲掛したウルチ米の状態をチェックしたが、この2週間雨が多く、また、東西方向に稲掛けしたため、北側の米がまだ乾いていない状態。
- ・ 後で、園主の意見を確認して、本日の脱穀・粃擦作業を実施するか否か？を判断することとし、まず午前中は、モチ米の稲刈りをするに。
- ・ バインダー2台、鎌、麻紐を準備。モチ米フィールドの四隅周辺を手刈してバインダーを入れるスペースを確保し、2台のバインダーを使って、午前中で全てのモチ米を刈り取った。

【お昼】

- ・ 12:00 から 13:00 まで昼食&休憩としました。

【午後】

- ・ 園主の判断により、ウルチ米の脱穀・粃擦りは翌日(日曜)に実施することに決定。天気は午後から晴れ上がり、翌日午前中までは晴れるとの予測なので、出来るだけ乾燥を図ることに。台風17号が近づいており、土・日が勝負という状況。
- ・ ウルチ米の乾燥状態を細かくチェックすると、北面の稲束には、中の方が濡れた稲穂が沢山残っており、明日の脱穀を考慮して少しでも乾燥させるために、ポニーに掛けた稲束の掛け替えを実施。具体的には、上段に掛けた稲束の北面、南面を逆にして、北面側の稲束を南面向けに掛け替え。また、一部、下段の稲束も掛け替えた。
- ・モチ米を掛けるポニーを新たに保存小屋から持ち出し、組み上げて田まで運搬し、南北方向に3列を組み上げ、午前中に刈ったモチ米の稲束を2段で稲掛けをした。
- ・ 稲掛けを終了させた後、休憩をはさんで、6名は尾根畑に移動し、大根、蕪、小松菜の種播きを実施。撒いた種は、①カラフルラディッシュ、②雪姫かぶ、③小松菜、④耐病総太り(青首大根)、⑤冬どり聖護院大根、⑥おふくろ(大根)、⑦おでん大根、⑧北京紅芯大根。大豆の状況は、白大豆は豆の実入りが悪いが、黒大豆はまずまずという状況。
- ・ 尾根畑での畑作業の間、3名がバインダーの掃除をしました。構造が複雑で水もかけにくく、あまりきれいになったとは思えないが、チェーンケースの中なども掃除。
- ・ 15:30 畑作業を終了。園主の依頼があり、都合がつく5名(石田、磯、久保、佐々木、高橋)がJA田奈脇の田んぼに向かい、3枚並びの田んぼの道路側に目立つヒエを抜き(刈り)を。16:45に終了して佐々木、高橋は直帰、石田、磯、久保は谷っ戸ん田に戻り道具を片付けて解散。

(記録：松下 哲郎)